



何という名のさくら？

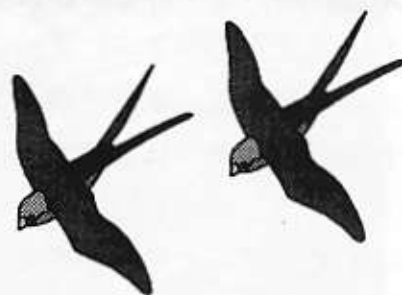
JR笠置駅前にて撮る

## 1、さくらの中 ツバメが帰って来た

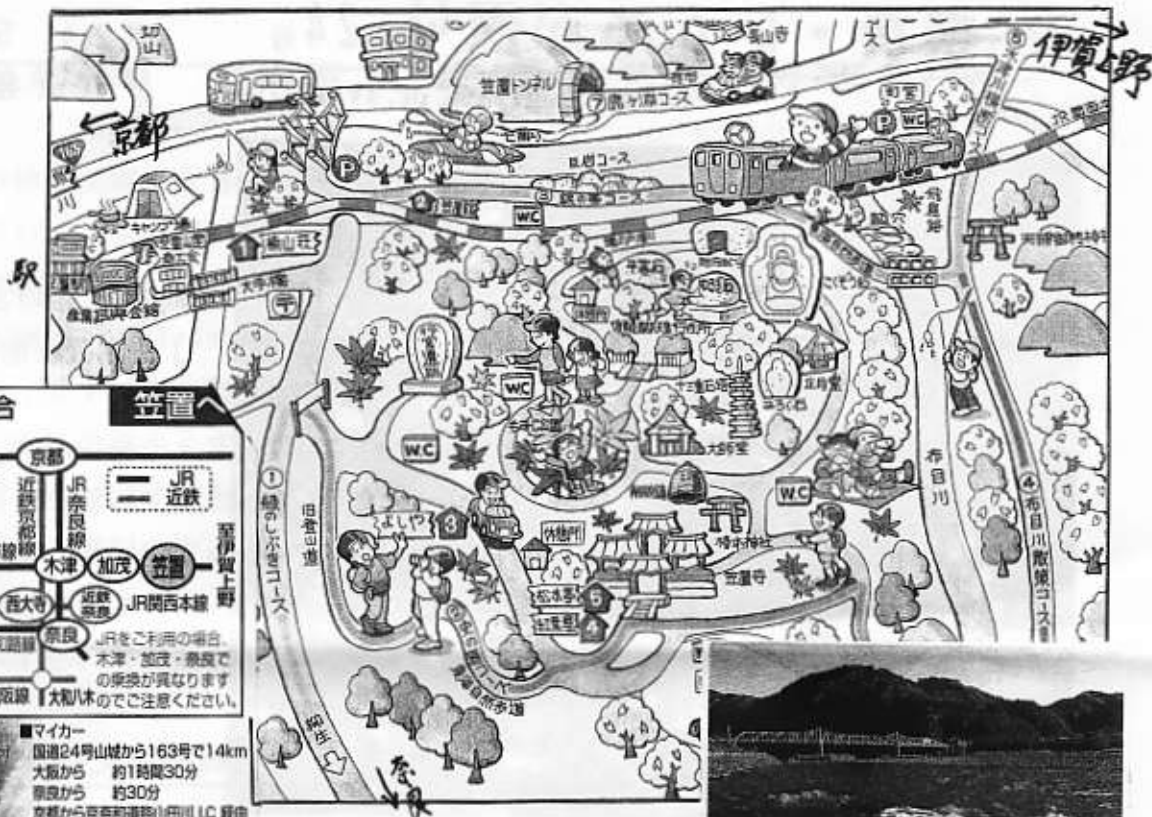
今年の奈良桜は寒冷前線による『春の嵐』の影響もあって開花がかなり遅れたが、花見は大いに賑わったようである。もっとも、私は昨年比べて外出のチャンスが少なく、佐保川へ行った以外にはどこへも行けなかった。斑鳩での数少ない知人の一人、梶川さんによると『龍田川観桜会』を開催したら人が大勢集まってくれたけど寒くてたまらず、『花より酒』だったとのこと。

ところがその咲きの最中、まだ桜が咲いていないのにツバメが帰ってきたのである。果たして今年のツバメかどうかは判らない。あの巣から落ちた子ツバメだろうかと思っ  
て声をかけてみたが、よそを向いて返事をしてくれない。

驚いたのはスズメやケリたちで、今まで遊んでいたところを返上したようである。わが家の裏の川もツバメの宙返りで忙しくなるのであろう。



# 笠置山 案内図



笠置山遠望

**■電車でお越しの場合**

**笠置**

■JR関西本線(笠置)下車  
京都から(JR奈良線)約1時間  
大阪から(JR関西本線)約1時間  
奈良から(JR関西本線)約30分  
名古屋から(JR関西本線)2時間

■マイカー  
国道24号山城から163号で14km  
大阪から 約1時間30分  
奈良から 約30分  
京都から京奈和道路山田川IC経由  
約1時間  
名古屋から 約3時間

## 3、おーい カーナビ君

足の具合が悪くなり痛むので、医者へ行こうと、息子に病院名・住所・電話を調べてもらい予約もした。奈良へ来て初めての病院行きである。足のことだし安全を考えてタクシーを頼んだ。やって来た運ちゃん、丁寧にカーナビに指示をする。

初めは良かったが、もう着くだろうと思うころからおかしくなって来た「大丈夫？道が違うんじゃない？」「大丈夫です。カーナビのいう通りにやっています」

私にも位置感覚はあり、場所の予想はしているのに大分外れている。「この鉄道線路の向こう側じゃないの？」「いいえ、あちらは行き止まりや一方通行が多いですから」そうか奈良名物の道路事情によって回り道をするのか。それにしても、どうしてこんなに細い道を行くのかな？ あれ!? さっき通った道じゃないの？

運ちゃんは答えずさらに進めて「ここです」と車が止まった。なるほど依頼した病院名の看板がある。半信半疑ながら降りて初診依頼をすると、すぐに診てもらえた。しかし、治療と言うほどのものはなく、血液検査の採血と「しっかり冷やして」と冷感シップを出してくれただけ。痛みは全く取れない。

帰宅して、貰った診察券を地図で辿ってみると「ありました！」私が依頼した所とは別に同じような病院がある。本院と分院かと思ったがそうではない。よく見ると片や〇〇病院に対して、こちらは〇〇医院なのである。紛らわしいヨオ！

整形外科らしい様子がなく、内科か漢方医のようだったのもそれが原因だ。カーナビ君しっかりしてくれ！と言いたいが、こりゃ人災だよな？ エッ！ 誰の？

## 2、笠置山・恭仁京跡

奈良新聞で「恭仁京跡」のことを報道するので、花見に行けなかった埋め合わせも兼ねて出掛けることにした。恭仁京(くきにょう)とは、聖武天皇が京都府加茂郡に建設しようとした平城京以前の都のことである。(740~744の僅か5年間)

車で東大寺の西を通過して 剣豪の里 柳生 に出て県道4号線を北上したが、深い杉林の細道で、片側1車線の交互通行だから対向車が来たら困るだろうと思いながら京都府へ下る。幸いに行き交う車はなかった。

たどり着いたJRの駅舎。一体どこかと見ると『関西本線笠置駅』とある。人っ子一人いない素朴な駅舎に「ウーム」と唸るが、もっと凄いのが駅の前の等身大の人形。大石を投げたり、弓で撃とうとしている。人形の周りはさくら。そしてその横から30mほどの大壁画。絵巻物の文字を読むと、元徳3(1331)年8月に 後醍醐天皇が神器を持って笠置に避難してこられ、夢に見た楠正成を召し出だして挙兵されたということが判った。駅の東の山が笠置山(海拔290m)らしい。建武の中興 のことだ。

そういえば、私らの子供のころは「楠正成」「新田義貞」といった名前がよく出て来た。“青葉茂れる桜井の”という歌は誰でも知っていたし、“そびえる金剛 岩は千早 寄せ来る賊軍一百余人”(千早城)“船坂山や杉坂と 御あと慕いて院庄”(児島高德)“吉野を出でてうち向かう 飯盛山の松風に”(四條畷) などという歌も思い出される。

何はともあれ昼飯を…と車を廻したが、名物料理の『きじ鍋』は《売り切れ》でありつけない。仕方なく土地の そば なるものを食す。

昼食後、木津川を西へたどって「恭仁京跡」を探すが看板ひとつ見つからない。車を止めて「風水」を行う。エート…??? 北に山を背負いて南に開け…?? 川流れるを「陽」と言う。この辺りじゃ! と勝手に決めて車を北へ向けると..「ありましたよ」ただし、大極殿跡らしき土盛りがある程度。宮跡はのちに山城国分寺となり、これも寺跡の碑が立つだけ。観光地でなくともよいが、歴史探索の説明はもっと細かくして欲しいもの。京都奈良には史跡があり過ぎなんだナ。



水取りの僧の法螺貝吹き合わせ  
 四肢折りて 座禪半眼孕み鹿  
 万葉の歌碑に 淡き初蝶来  
 金剛山 四月バカかな雪が降る  
 イカナゴ煮 数多の命 戴きぬ  
 大仏の鼻をくすぐり 花粉飛ぶ  
 南朝を偲ばす駅舎 花盛り  
 拍手する書記の火遊び 海に落ち  
 新緑の杜の奥より稽古笛  
 アイウエオ忘れた名前出す呪文

三月や 女人高野の風柔し  
 桜花 見とれて鹿にこづかれる  
 人恋える平城山を越え 鳥帰る  
 奈良奉行 植えし桜の佐保堤  
 テイの帰途 西陽に光る寺の鴟尾  
 斑鳩の塔に黄砂の襲い来る  
 木の芽はや臘となりぬヒミコ墓  
 色あせし ピョンヤン市民の祝い服  
 被災地で 経読む法師 よく肥えて  
 イナバウアーやってみようか検診時

#### 4、今年の陽気は？

今日(4/28)は暑かった。孫は半袖シャツで平気だ。隣のオバちゃんは丹精している花の世話をしながら「今年は変。ずっと寒く陽が当たらへんかったに急に暑ウなって過ごし易い季節がノウなった。花びらが成長出来ヘンで黒ずんでるワ」と言う。一方、GWで法隆寺前の駐車場に沢山のバスが出入りしている。先日は雨の中を中学生の団が歩いていて「折角の法隆寺なのに・・・」と気の毒に思ったが、今日の蒸し暑さも体が慣れていないから大変だろうと思う。昔の我々なら、修学旅行は秋が定番だったが、「新緑もいいぞ」となり、今では授業時間確保のため、二年生の春休みのうちに実施しようとなったのだろうか？

昨年もそうだったが、この時期には「奈良観光は電車かバス。車は郊外に預け」という看板が出る。しかしこれは地元迷惑！無法駐車が多くなる。狙われるのは公共機関だが押すな押すなの騒ぎ。図書館などは最初の1時間は無料でその後は有料だが、普通の駐車場より安いので満杯になる。わたしが図書館を利用したいと思っても近づけない。役場、公民館も他県の車が一杯で困っているらしい。

それとは別問題だが、一般人の運転技能や感覚が低下してはいないだろうか？ 新入生が登校を始め、うちの地区でも当番が朝の交通安全指導をしているが、ランドセルが歩いているような子供がいても全く徐行をしない。何度も子供の列に車が突っ込み、悲惨な事件が起きた報道があるのに、子供に気を配る配慮が見られない。細い道を、カーレース場と間違えて爆音をあげ、スピードを出して走る風がある。子供が車慣れして突然走りだすのも危険。年寄りだけの心配かな。

清水からタケノコが送られてきた。もちろんこちらのマーケットでも売っているけど、食べ慣れたものには敵わない。思いっきり贅沢に食べさせてもらった。